

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさがお		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・目的を持った活動計画の実施。	・毎月、主任を中心に活動計画の会議を行い、利用児童の特性等に合わせながら、目的を持った活動の計画を行っている。	・2月からの事業所移転に伴い、活動室の部屋数が増えたことで、2つの部屋に分けての活動が出来ないか検討中。
2	・ご家族からのご要望等に対する柔軟な対応。	・ご家族からのご要望に対して、出来ることと出来ないことを精査しながら、ご要望に寄り添える形がとれるように配慮している。	・ご要望の内容によっては、面談を実施する機会を作りながら、安心して事業所で過ごせるように配慮していく。
3	・各関係機関との情報共有や連携。	・相談支援事業所主催の担当者会議への参加を行い、情報交換を行いながら、ご家族が安心して事業所へ通わせられるように配慮している。	・担当者会議等への積極的な参加を行いながら、より連携を深めていけるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流の機会等が少ない。	・地域交流を目的とした活動計画を行っていない。	・地域の方々との交流を行える活動の計画を行えるように、地域の方々と関わる機会を作れるように検討する。
2	・各種マニュアルの周知が難しい。	・マニュアル関係に関して、事業所内には掲示しているが、周知が難しい状況である。	・マニュアル関係の周知に関して、見学や契約の際の説明とともに、事業所内の掲示についても話を行うようにする。
3	・避難訓練の認知度が低い。	・避難訓練に関しては、年に2回実施を行っているが、実施日が利用日でない児童がいる。	・現在、年2回の避難訓練の実施だが、1週間避難訓練を行う機会を事業所内で作り、可能な限り利用児童全員が避難訓練を行えるように配慮する。